

2014年2月24日

報道関係各位

一般社団法人 太陽光発電協会

2030年までの太陽光発電産業の姿を見通すビジョン
“JPEA PV OUTLOOK 2030”改訂版発行について

一般社団法人太陽光発電協会（略称：JPEA、代表理事：下村 節宏／三菱電機株式会社 取締役会長）は、2010年に発行した太陽光発電産業ビジョン“JPEA PV OUTLOOK 2030”に対し、東日本大震災や固定価格買取制度開始など太陽光発電を取り巻くその後の環境の変化を反映させた見直しを行い、2030年までの太陽光発電産業の進むべき道やその姿を示した改訂版を発行しましたのでお知らせします。

〈改訂版発行の経緯〉

当協会では、2002年に初めて太陽光発電産業ビジョンを発行し、その後随時見直し改訂を行っています。このたびの改訂は、2010年にタイトルを“JPEA PV OUTLOOK 2030”としてからは2回目（通算4回目）となります。2012年の前回の改訂は東日本大震災から1年を経たものでしたが、今回の改訂は2012年7月の再生可能エネルギーの固定価格買取制度（FIT）開始以降の市場動向や産業を取り巻く環境の変化を踏まえ、「FITが開く太陽光発電、普及の新しい扉」をサブタイトルとして発行するものです。

〈改訂版の概要〉

このたびの改訂では、FIT制度のもとで得られるであろう経験や実績を、その後の制度へのソフトランディングとそれに続く太陽光発電産業の持続的発展へのテイクオフにスムーズにつなげるための課題と、それに対する具体的な方策や可能性について言及しています。

2030年時点の国内累積導入量を従来ビジョンでの想定通り100GWとした上で、FIT制度下での市場の変化、電力系統における制約とスマート化、電力システム改革の影響などを踏まえ、今後の産業の姿についても述べています。

当協会としましては、太陽光発電産業ビジョン“JPEA PV OUTLOOK 2030”を公表することにより、今後の太陽光発電産業が進むべき方向性や課題への取り組みについて、関係者だけでなく幅広い層に理解を深めていただくことで、産業全体の発展につなげて行きたいと考えています。

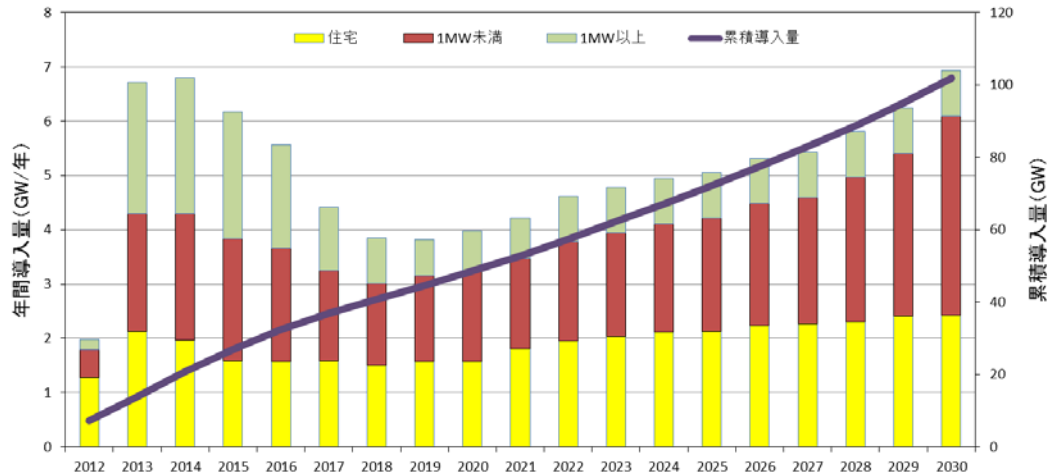
尚、“JPEA PV OUTLOOK 2030 - FITが開く太陽光発電、普及の新しい扉 - ”は、当協会のホームページの下記URLにてご覧いただけます。

本編：<http://www.jpea.gr.jp/pdf/pvoutlook2013-1.pdf>要約版：<http://www.jpea.gr.jp/pdf/pvoutlook2013-2.pdf>

Press Release

《参考情報》

◆2030年までの国内導入量見通し



◆ “JPEA PV OUTLOOK 2030 - FITが開く太陽光発電、普及の新しい扉 - ” 目次 (章)

1. “JPEA PV OUTLOOK 2030” の改訂について
2. 急展開を見せる太陽光発電市場
3. 新たな社会システムの変化と2030年への道筋
4. 住宅用太陽光発電
5. 非住宅分野
6. FIT ソフトランディングの条件
7. コスト
8. 新たなビジネスモデルへ
9. 海外展開
10. 100GW 導入へのシナリオ
11. 国内100GWから10兆円産業へ
12. おわりに

《『太陽光発電協会』について》

一般社団法人太陽光発電協会（Japan Photovoltaic Energy Association：略称 JPEA）は、1987年にその前身である『太陽光発電懇話会』として設立されてから現在に至るまで、一貫して太陽光発電の普及促進と産業発展に努めてまいりました。セル・モジュールメーカーから周辺機器、ゼネコン・住宅関連、流通、電力、公益団体等、太陽光発電に関連する幅広い企業・団体 159 社（2月24日現在）によって構成されています。

《本プレスリリースに関する問合せ先》

一般社団法人 太陽光発電協会 担当：穂岐山
〒105-0004 東京都港区新橋 2-12-17 新橋 I-N ビル 8 階
TEL：03-6268-8544 FAX：03-6268-8566 URL：<http://www.jpea.gr.jp>

以上